

# 『理念哲学講義録』を読まれて 【感想の御言葉】

■ 安岡正篤記念館 理事長 安岡正泰先生

## 拝 見

三寒四温、桜の便りも近い季節を迎えました。益々ご清栄のことと拝察申し上げます。

此の度は、天川貴之学長の「理念哲学講義録」を拝受、有難く存じます。

哲学、宗教、内的生命の欠落したこの世の中に、人間生命の本来の姿、真実を求道復活する「理念哲学講義録」を拝読、感銘を受けております。

我々は改めて、“人間とは何か”“我とは何か”を深く深省すべきでしょう。

人間から心というものを、哲学、思想というものを除いたらこのようなものである。だからこそ、我々は、学ぶことが必要だということでしょう。

返書大変遅くなりました事、失礼いたしました。貴大学の益々の御発展を心から祈念申し上げます。

敬具

■ 梅原 猛 先生

天川先生の講義録、お送りいただき、有難うございます。理想主義的な哲学を根底にして、未拝の叡智を発掘しようという御立場、十分共感致します。

天川先生によろしくお伝え下さい。

## ■ 国際日本文化研究センター長 山折哲雄先生

### 拝 複

ご健勝のことと存じます。このたび、ご高著「理念哲学講義録」をお送り下さり、まことにありがとうございました。

真率なる哲学思考の実践に、深い感銘を受けました。ますますのご活躍を祈念いたします。

敬具

## ■ 神戸海星女子学院大学 教授 田辺保先生

### 拝復

天川貴之氏の新著「理念哲学講義録」を、私にまでお送りいただき、ありがとうございました。

何より御志を壯とし、御情熱の強さにうたれています。

御論考における術語の厳密な定義(理念、唯物、知恵、叡智 etc.)、西洋学者らの引用の際のリファランスの整備、参考書目の掲出…などに留意なさるとよいと愚考いたします。

さらに反復味読させていただきます。とりあえず、右まで御礼  
方々…

草々

追伸 一 例として、知恵と叡智は、西洋語では、同じwisdom(sagesse, sophia …)です。

## ■ 関西師友協会 田中忠治先生

### 前略

「理念哲学講義録」拝受しました。  
天川氏の該博な知識と思索に敬意を表します。  
内容は、専門外の私の未読のものもあり、私には、ふさわしい  
評価はとても致しかねますが、プラトンのイデア論よりアリストテ  
レスの形而上学を経て、ハイデガーに到る存在論に対し、西田  
幾多郎がどのように対決したか、絶対無、絶対矛盾の自己同一  
などから解り易く解明されておられる事も興味があることです。  
皆様のいよいよのご研鑽を祈っています。

## ■ 北海道大学名誉教授 宇都宮芳明先生

### 拝復

このたびは、貴大学の天川学長の御講義録を頂戴し、ありがとうございます。  
「まえがき」でお書きになっていること、私もまったく同感です。  
貴大学の益々の御発展を祈念し、御礼言上まで、御葉書を差  
し上げました。

不一

## ■ 人間学経営研究所 所長 林英臣先生

「理念哲学講義録」を給わり、有難う存じます。とても大切な事

業であると思います。

天川学長が根本を語られ、それを皆様がどう実学に生かされるかが肝腎でしょう。生成ご発展をお祈り致します。

哲学の貧困こそ、現代の根源的問題です。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

林 英臣 拝

## ■ 大阪学院大学経済学部教授 丹羽春喜先生

拝復

過日は、御高著「理念哲学講義録」をご恵送いただき恐縮しごくに存じます。

一種独特の心地よい知的感興を味あわせていただいております。

まことに有難く、あつく御礼申し上げます。

## ■ 九州大学 名誉教授 稲垣良典先生

謹 啓

此度は、御鄭重な挨拶と共に、貴大学学長 天川貴之氏の御著書「理念哲学講義録」を御恵贈たまわり、御芳情まことに有難く、あつく御礼申し上げます。

カール・ヤスパースが、齡を重ねてやっと哲学が本当にわかりかけたときには、それを著作する力が失せている、といった趣旨の歎声を発しておりましたが、小生もまったく同感であります。ただし、これは道草を喰いすぎた者の歎きかもしれません。

どうぞ、天川学長に、御精進、御活躍をお祈り申し上げている

旨、御伝え下さい。

謹言

## ■ 放送大学 客員教授 量義治先生

冠省

このたびは、貴大学学長 天川貴之氏著「理念哲学講義録」をご惠授賜り、御礼申し上げます。搖るがぬ哲学的直観を以って全哲学を構想される信念に敬服いたします。今後ますます充実されてゆかれるることを期待します。  
不一

## ■ 元総務大臣 高市早苗先生

残暑の候 ご機嫌いかがでいらっしゃいますか。

この度は、ご著書「理念哲学講義録」、「桜咲く園～ソウルメイトとツインソウル～」をご惠贈賜り、本当にありがとうございました。

既存の体系を超えて、アカデミズムの新たな可能性に挑まれた素晴らしい内容には、政治・政策の分野においても学ぶべき点が多く、深い感銘を覚えました。天川先生の永年のご研究成果に対し、心から敬意を表します。

また、天川先生の豊かな感性があふれる素敵な詩歌集にも心打たれました。今後のご著作を楽しみに、更なるご活躍を祈念申し上げております。

お心がけいただいておりますこと、重ねて感謝申し上げますとともに、これからも一層のご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ご多幸とご健康、JDR義塾大学のご発展を心よりお祈り申し上

げます。

## ■ 聖徳大学人文学部助教授 茂木和行先生

### 拝 復

此の度は、『理念哲学講義録』をお送りいただき、ありがとうございます。

大変お若いのに、理性、感性をひたすら高めてゆく求道者の姿勢に感服しています。

私は、いまだ道半ばの「哲学徒」に過ぎず、ひたすら「己の未熟さ」を思い知らされる毎日です。

お恥ずかしいですが、近著一冊と論文一つを同封させていただきました。著作は、ソクラテス的対話法による講義録、論文はミュージアムにおける”時間濃縮”の役割についてです。「哲学のミュージアム」をめざしておりますので、いろいろお知恵を貸していただければ幸いです。  
敬具

## ■ 富士大学 学長 小山田了三先生

### 謹啓

師走の候、天川先生には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本年6月に貴台から御著「理念哲学講義録」をお贈りいただきましたこと、心より御礼申し上げます。

御著を見し、半世紀以上昔の頃、哲学少年でありました小生にとりまして、大変興味をそそられる内容でしたので、一通り読み終えましてからお礼のお手紙をと存じておりましたところ、あつと

いう間に年末になってしまい、お礼が大変遅くなりましたことお詫び致します。

もっとも、御著の方は何度も繰り返し読ませて頂き、今は各頁、赤線に色どられております。かつて青年時代、断片的な知識としてしか残らなかったものが、御著によりきれいに整理・統合されて、小生の中で体系化されつつあります。まさに貴重な名品であり、精神指導書であると感動致しております。

どうも工学屋の私には哲学書をどう表現していいのか分かりませんが、御著はこれからも愛読して参りたいと存じております。

末筆ではございますが、向寒のみぎり、お身体ご大切にこれからも一層のご活躍をご祈念申し上げます。

謹白